



## ブライダルチェックの検査項目



AMH 検査	<p>卵子の数は生まれる前から決まっており、その数を増やすことはできません。個人差が大きく、加齢とともに低下します。卵巣にどのくらい卵子が残っているのか、卵子の在庫数を採血で調べることができます。</p> <p>AMH が低い場合は、早期に卵巣機能が低下する可能性があるため、早めの妊活をお勧めします。</p> <p>AMHが高い場合は、月経不順や無排卵などの多嚢胞性卵巣症候群の可能性があります。排卵の有無を確認し、早期の治療が必要になることもあります。</p>
超音波検査 (経腔エコー)	<p>不妊症につながる婦人科の病気(子宮内膜症、子宮筋腫、子宮内膜ポリープ、卵巣嚢腫など)の有無を超音波検査で調べます。</p>
貧血検査	<p>女性の貧血の原因は様々あり、婦人科の病気や内科的な病気だけでなく、生活習慣の影響などがあります。貧血を指摘された場合は、病気の原因を調べたり、生活習慣の見直しなどが必要になります。</p>
女性ホルモン検査	<p>PRL は乳汁分泌ホルモンと呼ばれるホルモンを測定する血液検査です。高値の場合は不妊症の原因である高プロラクチン血症の可能性がありま。</p>
血糖	<p>排卵に影響する血糖の値を調べる血液検査です。</p> <p>不妊症や月経不順の原因のひとつに糖尿病があり、また血糖値のコントロールが不十分な状態で妊娠すると、流産率が上昇したり、胎児の先天奇形を生じやすくなります。妊娠前に検査し、異常がある場合は、治療を開始することが重要です。</p>
HbA1c	<p>HbA1c とは、赤血球中のヘモグロビンが糖と結合したもので、過去 1~2 ヶ月の血糖値を反映する血液検査です。HbA1c は当日の食事や運動など短期間の血糖値の影響を受けません。</p>
感染症検査	<p>B 型肝炎・ C 型肝炎・梅毒・HIV 感染症の有無を調べる血液検査です。</p> <p>万が一感染していた場合、母子感染の危険性があるため、妊娠前の検査をおすすめしています。</p>

甲状腺検査	<p>甲状腺機能検査は、甲状腺機能(TSH(甲状腺刺激ホルモン)・FT3・FT4)の異常の有無を調べる血液検査です。甲状腺の病気の発症率は女性の方が高く、妊娠と密接に関わっています。甲状腺の病気は、不妊症や胎児発育、流産に影響を及ぼす可能性があると言われており、妊娠前から適切な診断と治療を行うことが大切です。</p> <p>また、不妊症の方の10人に1人は潜在性甲状腺機能低下症を合併していると言われています。妊娠時の甲状腺疾患管理の国際ガイドラインでは、TSH値2.5<math>\mu</math>U/ml以上の場合、治療を検討します。</p>
風疹抗体検査	<p>風疹ウイルスに対する抗体の有無を調べる血液検査です。</p> <p>妊娠初期の女性が風疹にかかると、胎児が先天性風疹症候群(心疾患や聴覚障害、白内障・緑内障、精神発達遅滞など)を発症する危険が高まります。</p> <p>妊活を開始する前にお二人の風疹抗体を調べることをおすすめ致します。</p> <p>風疹ワクチンを接種されていない方、抗体が不十分(32倍未満)な方はワクチンの接種をお勧めします。 ※地域によっては助成の対象になります。ご自身で確認してください。</p>